



## 赤い羽根共同募金が始まります！

今年も10月1日～12月31日に全国一斉に『赤い羽根共同募金』が始まります。

新型コロナウイルス感染症予防のため、思うようにボランティア活動ができない日々が続いていますが、その中でも地域福祉に関わることができるボランティアの一つに“募金”があります。

佐世保市内で集められた募金は、佐世保市内での地域福祉や福祉施設の修繕費、ボランティア活動支援などに使用されています。

寄付をする人、寄付を募る人、共同募金を支えるのはボランティアの力です。

『佐世保のまちをよくする活動』である共同募金への皆さまの温かなご理解とご協力を、今年もよろしくお願いいたします。



災害支援やホームレス支援、いきいきサロンの推進、子ども食堂への助成など、多くの地域福祉に使われています。

## 「ボランティア入門講座」開催の、お知らせです。

ボランティアに興味があるけど、何をしたいかわからない、どんなボランティアがあるか知りたい。

そんな方を対象に、ボランティアに関する基礎知識や心得を学ぶ講座を行います。

日時：令和3年10月16日（土）  
13：30～15：00

会場：させぼ市民活動交流プラザ  
（旧戸尾小校舎）

対象：ボランティアに興味がある方  
定員：15名 《受講料は無料です。》

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 演芸ボランティアさん募集中

趣味や特技、技術をサロンや福祉施設、町内会行事などで披露してくれるボランティアを募集しています。

長く続くステイホーム期間で磨かれたその技術を、今後ボランティアで活かすために当センターに登録しておきませんか！

楽器の演奏や合唱、踊りやマジック、落語やバルーンアートなど、特技の種類はご相談ください。

今後活動できる場所の情報が入りましたら、希望者へ依頼情報をお知らせします。

登録は、ボランティアセンターへ来所しての手続きになります。

少人数の場所から始められます！



## 当紙くれよんでは、ボランティア情報を募集中です。

あなたが街で見かけたボランティアさんや、もっと皆さんに知ってほしい活動など、くれよんに紹介したいボランティア情報を募集中です。お気軽に電話、FAX、メールでボランティアセンターまでご連絡ください。あなたの情報をお待ちしています！

# あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2021年度 第4号  
令和3年10月1日

気をつけて！水害後のホコリや泥はバイ菌だらけ！  
**作業時の服装**

作業用(防塵)マスク

タオル

暑くても長袖(汚れてもいい服)

厚手のゴム手袋  
※水害作業は軍手はNG！  
(ゴム手袋の中にはめるのなら汗を吸うのでOK)

水を入れた水筒やペットボトル(うがい、目や手を洗う用)

ヘルメットや帽子

ゴーグル(コンタクト使用者は必須！消毒などの薬品を使う時にもあるとよい)

荷物を入れるウェストポーチなど

- 貴重品
- 応急セット
- 塩分補給用の梅干しや塩飴など

長ズボン

長靴(釘の踏み抜き防止のインソールを入れるとベスト！)

# 風水害復旧支援 ボランティア

佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)  
〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階  
TEL：0956-23-3905/FAX：0956-42-0102 E-mail：kureyon@sasebo-shakyo.or.jp  
時間/10:00～18:45(火～土) 10:00～17:00(日)  
休館日/月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



# 特集 風水害の災害ボランティア活動



近年、台風や豪雨等による風水害が多発しています。災害が発生した際、被災地では災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮し、被災地に欠かせない重要な支援になっています。今回は風水害による、災害ボランティア活動に必要な装備品や心得などを紹介します。

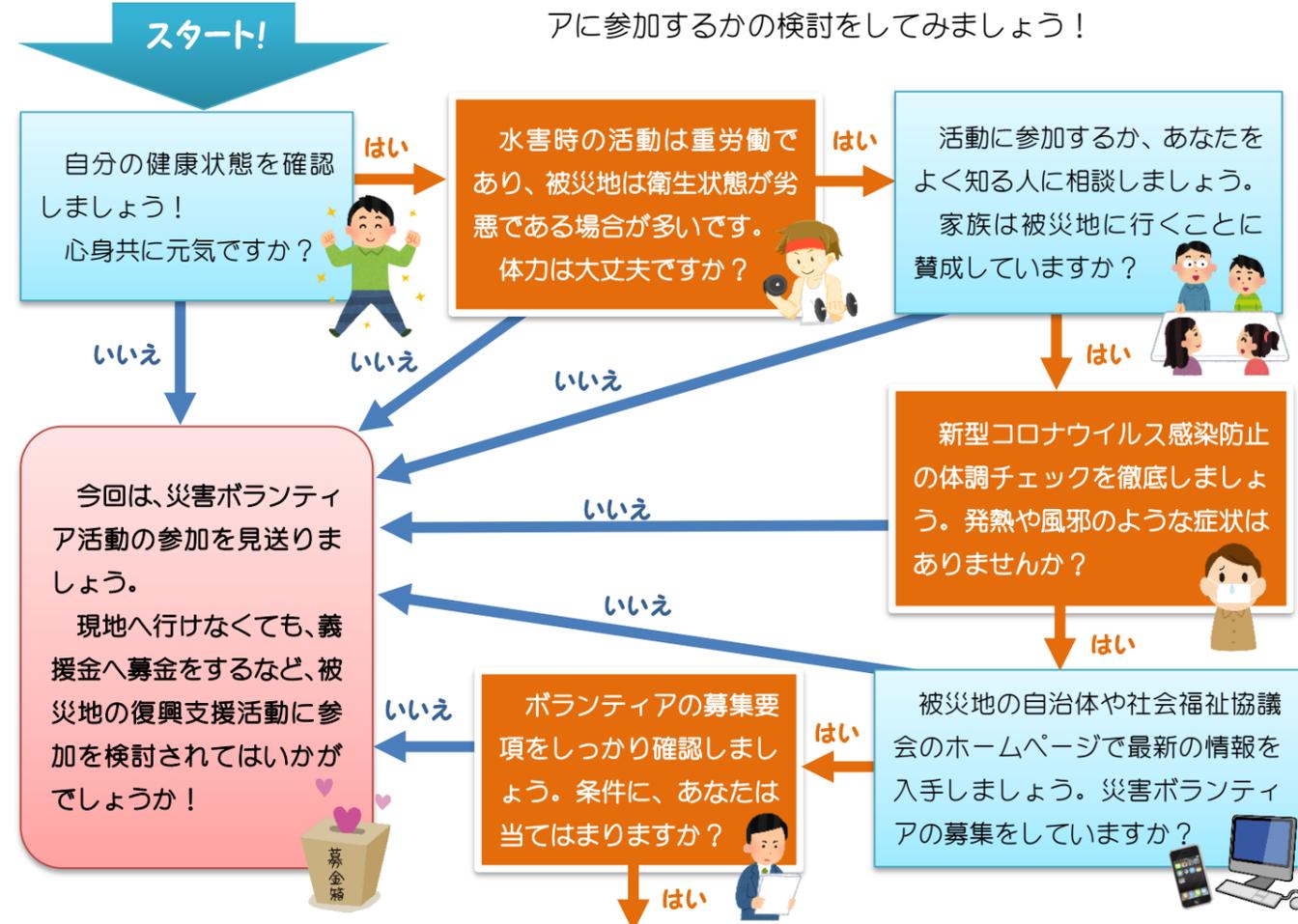
## ★風水害の復旧支援ボランティアに参加したい！★

被災地の皆さんを助けたい！災害ボランティアは初めてだけど、とにかく被災地に行ってみよう！！



### ちょっと待って！その前に！！

水害等の被災地における活動は、通常のボランティア活動とは異なって常に危険がつきまとい、些細な事が大きな事故に繋がりがねません。そこで、こちらのフローチャートで、災害ボランティアに参加するかの検討をしてみましょう！



右のページやインターネットを参考に十分な準備をして、いざ災害ボランティアへ！

この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

## 服装と装備

- 身支度はしっかりと！  
表紙の写真をご参照ください。
- 食事や飲み物の用意  
被災地に負担をかけないように、食糧、飲み物は持参しましょう。
- ボランティア保険に加入  
活動中の事故やケガ等に備えて、必ず加入しましょう。  
※手続きは、出発前に済ませましょう！

水害後の片付けには、割れたものの破片などが潜んでいることが多く、予期せずケガを負うこともあります。

**危険**



そのケガで怖いのが、「破傷風菌」による感染症です。軽装での作業は止めましょう。



長崎国際大学 実習生  
はますな かずや  
浜砂 佳寿也さん

## 復旧支援災害ボランティア、活動中の心得



- 被災者の気持ちを常に考えながら行動する  
相手のプライバシーと人権を守り、マナーある行動と言葉遣いで活動しましょう。  
一見瓦礫として捨ててしまいそうなものが、被災者にとって大切なものかもしれません。一つひとつ確認を取りましょう。  
許可なく、写真や動画を撮るなど禁止です。

## ●ボランティア同士コミュニケーションをとって活動する

ボランティアだからと言って、好き勝手な行動はできません。自分の役割を理解して責任を持って行動することが大切です。危険が伴う活動であることを意識して、ボランティア同士、お互いの得意分野・不得意分野を補い、報告・連絡・相談を心がけて活動しましょう。



## ●活動時間を管理する

連続的活動は1時間（暑い日は30分）を限度とし、15分程度の休憩を取りましょう。被災地での手伝いは思った以上に慣れない活動です。疲労度に応じて休憩時間を延長するか、休憩回数を増やし、水分、塩分を適切に補給しましょう。

## ●常に楽しく、明るく行動する

笑顔が無くなると、被災者の方が心配します。無理せず、怪我なく、安全を心がけながら活動を行いましょう。



自然災害は、いつどこで起こるか分かりません。もしもの時のために知識を持ち、実際に被災地へ行けなくても一人ひとりに合った支援方法で助け合える、私達のまち佐世保の地域づくりを目指していきましょう。